



かみのせき 議会だより

2011

7/29

No.115



夏・だいおき

平成 23 年 6 月 定例 議会

議案 平成 22 年度補正予算専決処分・23 年度補正予算・条例制定専決処分	-----	2～3P
一般質問	-----	4～6P
賛否討論	-----	7P
請願審査・編集後記	-----	8P

上関中学校校舎建設基本設計

業務委託料に1426万7千円

一般財団法人 なごみ

上関海峡温泉指定管理料に1000万円

議案

平成23年第二回定例会は6月14日から22日までの9日間の会期で開かれた。

提出された議案は、平成22年度一般会計及び特別会計の4会計の補正予算などの専決処分の承認、平成23年度一般会計及び簡易水道事業特別会計の補正予算並びに条例制定の専決処分の承認、平成23年度一般会計補正予算1件、条例の制定1件、指定管理者の指定1件、公有水面埋立に関する意見1件及び報告3件と議員提出議案1件。審議の結果、いずれも原案どおり可決、承認された。



上関中学校

平成22年度 補正予算専決処分

○議案第1号

一般会計補正予算は補正額として2250万6千円を減額し、予算総額を41億6830万4千円とする。

歳入の主なものは、地方交付税のうち特別交付税の増、基金からの繰入金金の減である。

歳出の主なものは、特別会計への繰出金の減、公共施設建設基金への積立金の増である。

○国民健康保険法施行令の改正に基づき「上関町国民健康保険条例」及び「上関町国民健康保険条例」の一部を改正する条例の制定について専決処分したものである。

平成23年度 補正予算専決処分

○議案第2号

(一)山口県瀬戸内海海区漁業調整委員会委員補欠選挙の執行経費として140万円を追加し、予算総額を43億9

636万6千円とする。

(二)祝島地区の湯水対策として、水の購入費用等に簡易水道特別会計補正予算に1000万円追加して、予算総額を1億5874万円とする。

条例の制定

○議案第3号

東日本大震災に係る雑損控除額及び、住宅借入金等特別税額控除の課税特例を規定するもの。

指定管理者の指定

○議案第4号

上関海峡温泉施設の指定管理者に「一般財団法人なごみ」を指定するため。

平成23年度 補正予算

○議案第5号

一般会計
歳入は、財政調整基金からの繰入金金の増
歳出では、上関海峡温泉指定管理料、上関

契約の変更

工事名	内 容			契約の相手方
	事項名	変更前	変更後	
平成 22 年度 室津地区公有地 基盤造成工事	契約年月日	平成 23 年 2 月 24 日	平成 23 年 3 月 10 日	(株)河本土木建設 河本将志
	契約金額	54,959,100 円	56,835,450 円	



第 2 回定例会のようす

○議案第 7 号
上関漁港区域の公有水面埋立免許に関する山口県知事の諮問に対するため。

公有水面埋立に関する意見

○議案第 6 号
租税特別措置法の改正等に伴い、過疎地域内等における固定資産税の特例に関する条例の一部の改正を行う。

条例の制定

中学校校舎建設基本設計業務委託料の増が主なもので 3268 万 3 千円を追加し予算総額を 44 億 2904 万 9 千円とする。

報告

○議案第 1 号
動議成立に必要な賛成者の数を、2 人以上を 1 人以上に改めるため。

議員提出議案

(一)平成 22 年度上関町繰越明許費繰越計算書について。
(二)平成 22 年度室津地区公有地基盤造成工事契約の変更。
(三)平成 22 年度土地開発公社の決算及び業務等報告。
○用地取得なし。
○用地売却なし。

平成 22 年度上関町繰越明許費繰越計算書

(単位：円)

款	項	事業名	金額	翌年度繰越額	左の特定財源		
					既収入特定財源	未収入特定財源	一般財源
4. 衛生費	1. 保健衛生費	上関町斎苑発電機購入事業	3,675,000	1,658,000	0	国 1,650,000	8,000
6. 農林水産業費	3. 水産業費	室津(大川)護岸改修事業	12,000,000	12,000,000	0	国 8,900,000	3,100,000
		上関(本港)漁港西野積場用地舗装事業	9,003,000	9,003,000	0	国 6,700,000	2,303,000
7. 商工費	1. 商工費	町営バス購入事業	4,257,000	4,257,000	0	国 3,100,000	1,157,000
		蒲井公衆トイレ整備事業	6,400,000	6,400,000	0	国 4,700,000	1,700,000
8. 土木費	2. 道路橋梁費	町道室津志田線道路拡幅事業	6,000,000	6,000,000	0	国 4,400,000	1,600,000
9. 消防費	1. 消防費	防災行政無線操作卓改修及びデジタル電波伝搬調査事業	39,561,000	39,561,000	0	国 29,426,000	10,135,000
10. 教育費	2. 小学校費	学校図書整備事業	730,000	730,000	0	国 664,000	66,000
	3. 中学校費	学校図書整備事業	370,000	370,000	0	国 336,000	34,000
	4. 社会教育費	新規図書館開設準備事業	11,900,000	11,900,000	0	国 11,600,000	300,000
	5. 保健体育費	町民体育館外壁改修事業	13,500,000	13,500,000	0	国 10,000,000	3,500,000
計		11 件	107,396,000	105,379,000	0	81,476,000	23,903,000



一般質問

問題に質問が集中！
6名の議員が問う！

問 原発建設計画を白紙に戻しては？



清水 敏保 議員

答 町民の生活を守る責務がある！

東日本大震災に伴う福島第一原発事故は、3ヶ月以上経過しても収束する状況にない。原発周辺の住民は、不安を抱えながら避難生活之余儀なくされている。電力会社や国の対応はまずく、人間の能力では処理できない施設だ。上関町の安心・安全を考え、上関原発計画を白紙に戻し、自然エネルギーを含め、これからの町づくりについて議論しては。

町長答弁

原発計画を白紙に戻すことは町議会の誘致決議の尊重などさまざまな理由により私の一存ではできない。今後、

問 どうする上関町？

答 事実として真摯に受けとめる！

国の原子力行政の見直しなど国の動向によって原発財源が不透明な状況になっている。原発財源があるなしにかかわらず、選択の道幅広く持つておく必要があると考える。これからの上関町についてはじっくり議論することが必要なことだと考える。



山根 善夫 議員

福島原発事故は深刻の度合を増している。近隣の市町議会では上関原発建設の中止、凍結を求める意見書が可決されている。さらに事故による国の原子力政策は不透明であり交付金を使つての大型事業は中止すべきでは。今回の原発災害のように地域崩壊にもつながりかねない事故の起こりうる原発計画は断念すべきだ。最大の危機管理は原発の立地の白紙撤回と考える。見解は。

町長答弁

各自自治体の議会行動にはそれぞれの思い、考えがあつての行動と考える。このことに対してあえて評価することは差し控えたい。原子力関連の交付金について、来年度以降の見通しがつかない状況で大変苦慮している。国の動向を注視し、その上で判断する。上関原子力発電所立地の白紙撤回は私の一存では到底厳しいものがあると思う。





問 どうなるふるさと市場？

原電関連問

答 まさしく今！岐路に立っている！



上関海峡温泉建設現場

3月11日の大震災に伴い起きた福島第一原子力発電所の事故も深刻な状況、早急に収束する事を望むばかりである。今後のエネルギー政策も見直しが検討されると考えるが、本町の来年度完成予定で



嶋尾 忠宏 議員

ある総合文化センター建設事業及びふるさと市場等建設事業は、重要な町づくりのはしりだと考えるが財源確保等、問題もある。計画どおり進めていくのか。

町長答弁

福島第一原子力発電所の事故を踏まえ、国は今までのエネルギー政策を見直す方針を打ち出しており、上関原子力発電所建設の取り扱いが不透明な状況、今後の交付金等は全く予測はつかない。国の動向を見きわめた上で、これら2つの事業については着手するかどうか、慎重に判断すべきと考える。財源なしで今の計画を進めていくのは正直大変厳しい。



岩木 基展 議員

問 崩壊した安全神話？

答 国の動向を見守りたい！

東日本大震災は、原発事故により家に帰れない状況である。国・電力会社や推進の人は、多重防護で絶対ないと言ってきた。しかし、安全神話は完全に崩壊し、周辺自治体も被害を受け、これにより、上関周辺の議会が白紙や凍結を議決している。財源確保のためとはいえ、安全神話が崩壊した原子力を誘致することは、町民の命と財産を守るのか。

上関周辺自治体の議会が上関原子力発電所に関して中止や凍結の意見書を国や県などに提出されたことは福島第一原子力発電所の事故の現実を直視すればやむを得ないことだと思う。しかし、町民の暮らしの支援はもとより多種多様な住民要望におこたえするには財源確保は必要不可欠である。原子力発電所の安全性については、国の動向を見守りたい。

町長答弁



福島県



篠川 源次 議員

問 交付金の見通しは？

答 何とも言えない状況！

先日の新聞に、県は来年6月に着工予定の上関原電1号機に関する、総額約86億円の交付金を近隣の2市3町に配分額を決め文書で通知され、来年度以降に国の予算編成に盛り込んで貰うとしている。本町に対しては国が直接、同交付金約86億円を交付する手続きに入るとの記事が載っていたが、手続きはどのようなになっているのか、今後の働きかけは。

町長答弁

現時点における交付金については不透明な状況で周辺市町と総合的に判断をし、交付手続きには入っていない。来年度の交付見通しについて、来年度以降の交付金について大丈夫という確認はとれていない。私としては、原子力関連の交付金制度について、これ

までどおり継続されるよう、国等へ要請していきたい。



問 今後の原電は？

答 厳しい判断が必要！

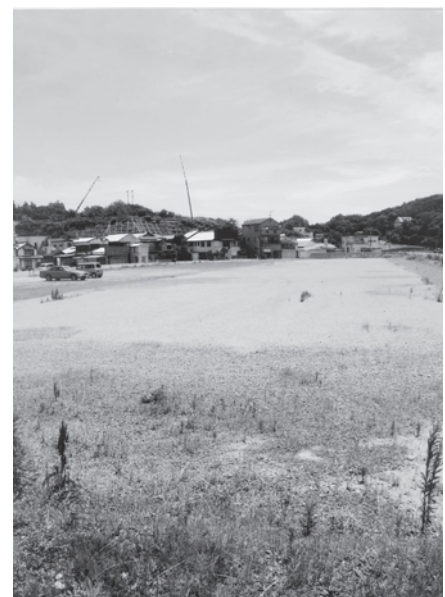


河村 満生 議員

福島第一原電の事故を受け、国はエネルギー政策を見直す方針という。上関原電建設計画も不透明になり、町長も来年度以降の原電関連の交付金の予測がつかず、財政面から事業計画の見直しをという。町民の関心が高い、工事中の温浴保養施設や今年中に着工予定の総合文化センター、ふるさと市場はどのようなのか、後期基本計画の見直しは。

町長答弁

現在計画されている温浴施設は東日本大震災の影響により、予定より多少遅れるのではと考えているが、財源の心配はないと思われる。総合文化センター及びふるさと市場等の建設については建設工事費に充当するとしていた特別交付金等の見通しが現段階では不透明な状況にあり後期基本計画の見直しを含め大変厳しい判断が必要と考えている。



室津埋立地

上関原発建設計画を白紙撤回するよう決議することを求める動議



平成 23 年 6 月 22 日

提出者 上関町議会議員 清水 敏保
賛成者 同上 岩木 基展
同上 山根 善夫

3月11日の東日本大震災に伴う東京電力福島第一原子力発電所の事故は、3ヶ月が経過した現在も収束する状況になく、被害は拡大している。原発事故による放射線の影響により、原発周辺の住民の方達は、不安を抱えながら避難生活を余儀なくされている。これまでは、原発について国や電力会社は、大地震にも耐えられる頑丈な施設で安全であると豪語してきたが、福島の原発事故により「安全神話」は完全に崩壊した。この事態を受けて周辺の市町議会は、山口県に対して「上関原発建設計画」の中止や凍結を求める意見書案を可決したり、採決に向けての取り組みがなされている。また、国はエネルギー政策を白紙から見直すと言っている。上関町議会としても、今回の事態を重

く受け止め、町民の安全・安心を第一に考え、「上関原発建設計画」を、白紙撤回するよう決議を求めるものである。

反対

西 哲夫 議員

今回の福島原子力発電所放射能漏れにより、上関町周辺の市議会・町議会で、上関原子力発電所建設に凍結等の意見書採択されているが、このことにより上関町議会も同調するような意見書採択することは、30年近く原子力発電所建設による町づくりを掲げ取り組んでこられた住民の思いと山口県が言い続けてきた町の政策選択を尊重する考えに相容れないものであり、当事者の上関町議会が弱腰になつてはならないと考え、よって動議に反対する。

賛成

岩木基展 議員

東日本大震災では多くの方が被害にあわれた。今回は、原発事故がおきたことにより、放射能が放出され、地震や津波で被害を受けていない人も避難している。また、広範囲の農水産物にも多くの放射能の影響を与え、出荷や出漁停止が現状である。これで、周辺議会も白紙や凍結を求めている。上関は、原発誘致の責任自治体であり、事故がおきれば町民や周辺地域も住めなくなる原発を誘致するべきではない。よってこの動議に賛成する。

反対

嶋尾忠宏 議員

長年目指してきた「原発立地に伴う財源を活用した町づくり」は、現段階において、方針を変えてしまえば、

賛成

山根善夫 議員

この度の原発事故により、その状況はこれ

衰退の一途をたどるばかりであると考ええる。将来展望が見えなくなるとともに、今の財源のもとで当たり前に行われている種々のくらしの支援なども受けられなくなり、町民に大変不便な生活を強いることになる。国において、事故の原因究明および安全対策など取り組まれエネルギー政策も示されると思う。今は、冷静に見守ることが、基本姿勢だと考える。

から何年続くか予見できない地域崩壊を予想させる歴史上最も過酷な事態である。原発反対を訴え続けてきたのはまさしく原発の危険性であったことは言うまでもない。議会の根幹は住民の安心と安全を未来に向け構築することにあると考える。民の幸福とは未来に安心、安全を残そうとする尊い思いから生まれる。そのためにこそ民は故郷に心身を捧げ、住むことに名誉と誇りを抱くのではあるまいか。原発はこのことに逆行するものであると考える。

賛成少数で

否決



請願の

ゆくえ

■継続審査■

◆上関原子力発電所準備工事・建設工事を妨害する行為の排除ならびに工事の円滑な促進を求める請願書

◎審査結果
継続審査

◎意見
審査の結果、当請願について、内容を精査するために継続審査とする。

国体の準備が着々と進んでいます。
町民一人ひとりが何らかの形で参加したいものですね。

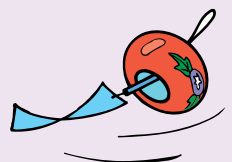


民泊協力会委嘱状交付式

暑中お見舞い
申し上げます。

ご自愛されて楽しい夏をお過ごし下さい。

町議会議員一同



編集後記

東日本大震災は未曾有の大災害となりました。あらためて自然災害の恐ろしさを痛感しております。一昨年、山口県においても、豪雨により土砂災害をはじめ、大変な被害を受けました。近年、異常気象の傾向が見受けられ、大雨、台風、高潮、猛暑等災害について再認識し、個々に避難場所等把握し、十分注意して下さい。また、おもしろい心の大切さも認識しました。一日も早く復旧、復興と原発事故の収束を願っております。

特別委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 岩木 和美 |
| 副委員長 | 山根 善夫 |
| 委員 | 海下竜一郎 |
| 委員 | 篠川 源次 |
| 委員 | 嶋尾 忠宏 |
| 委員 | 右田 勝 |